

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 倉敷市水道局		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒710-8565 倉敷市西中新田640番地	
本票作成	部署名：浄水課				
主たる業種	分類コード	36	業種名：水道業		
事業の概要	水道業 職員：113人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	片島浄水場		倉敷市片島町1000	
	②	上成浄水場		倉敷市玉島上成1166	
	③	船穂取水場		倉敷市船穂町水江1424-4	
	④	福井浄水場		倉敷市福井287	
	⑤	真備浄水場		総社市下原下高畑1210-3	
⑥	勇崎加圧ポンプ場		倉敷市玉島柏島字金頭6244-4		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 189 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成26年度)	(平成30)年度排出量	目標年度(令和1年度)
	9,183 t CO ₂	7,581 t CO ₂	8,632 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成30)年度排出量
	①	片島浄水場	2,005 t CO ₂
	②	上成浄水場	1,434 t CO ₂
	③	船穂取水場	887 t CO ₂
	④	福井浄水場	785 t CO ₂
	⑤	真備浄水場	291 t CO ₂
⑥	勇崎加圧ポンプ場	163 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：平成27年度～令和1年度(5箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(30)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	15.3 %	6.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 H30年度給水量 59,762,555 m ³	原単位当たり排出量		
		基準年度	(30)年度	目標年度
		0.1497 kg CO ₂ /(m ³)	0.1269 kg CO ₂ /(m ³)	0.1407 kg CO ₂ /(m ³)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成30年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・平成30年度は、主要施設の省エネ法に基づくエネルギー管理重点強化(省エネ・温暖化対策研修など)の取り組みを進めた結果、エネルギー起源CO₂排出量は前年度比87.1%の7,581tCO₂と削減が進み、目標年度(令和元年度)目標値の8,632tCO₂を達成した。

【推進体制】

・CO₂等温室効果ガス排出削減と省エネルギーを総合的に推進するため倉敷市の水道局、市長部局、教育委員会及びボートレース事業局で組織する「省エネ・温暖化対策推進委員会」を平成22年度より実施している。
 ・水道局としては、エネルギー起源CO₂等排出削減を省エネ法特定事業者としてエネルギー管理体制を継続的に整備し推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(平成30年度実施分) 勇崎加圧ポンプ場	(平成30年度実施分) 送水ポンプの更新(容量の適正化) / 47.1tCO ₂ 削減
片島浄水場	空調設備の更新(容量の適正化) / 4.5tCO ₂ 削減
(今後実施予定分) 真備浄水場	(今後実施予定分) 送水ポンプの更新(容量の適正化) / 82.8tCO ₂ 削減
福井浄水場	曝気ブロワーの更新(容量の適正化) / 33.7tCO ₂ 削減
片島浄水場	空調設備の更新 / 26.1 t CO ₂ 削減
真備取水井	取水ポンプの更新(容量の適正化) / 3.3tCO ₂ 削減

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--